

## 聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	肘関節周囲外傷後の術後セラピーにおける static progressive splint の有用性		
② 実施予定期間	承認後～2025年3月31日		
③ 対象患者	肘関節周囲外傷の診断を受け、手術、術後セラピー目的で当院に入院した方		
④ 対象期間	2016年4月から2021年3月まで 承認後から2024年3月31日まで		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	整形外科		
⑦ 研究責任者	氏名	阪本匠太	所属 リハビリテーション室
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 基本情報：性別、年齢、受傷機転、骨折型、職業、損傷手、受傷から手術までの期間、入院期間、浮腫の有無、可動域訓練開始時期、可動域訓練開始時の関節可動域、最終可動域まで到達した時期、リハビリ終了時期。 手術情報：軟部組織損傷の有無、骨接合術の方法、手術時の駆血時間 関節可動域：肘関節、前腕、手関節の可動域を自動運動、他動運動で測定。 治療評価：日本整形外科肘関節機能評価（JOA score）、Jupiter の評価基準。 患者様立脚型評価：DASH score、HAND20。 その他：疼痛評価、知覚評価。		
⑨ 研究の概要	肘関節周囲外傷後の術後セラピーにおいて、static progressive splintの導入が、最終成績にどのような影響を及ぼすのかを比較検討し、手外科領域における肘関節周囲外傷後更なる治療成績向上を目的としています。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします		
⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このこ		

	とを「匿名化」と言います) 管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。	
⑬ 知的財産権	聖マリア病院に属します	
⑭ 研究の資金源	なし	
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。	
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。	
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 リハビリテーション室 阪本匠太	
	電話	0942-35-3322 (代表)